ようこそ諸聖徒保育園へ

『これらの小さい者の一人でも軽んじないように気をつけなさい』

（聖書の言葉）

本園は、キリスト教精神に基づいて園に関わる全ての人々が、神の祝福と愛と恵の中で、おさなごを中心として、神に感謝しつつ保育する。
心身の発達と人格形成の基礎となる最も大切なこの時期に望ましい環境を与え、家庭支援と地域との関りを重視しながら、おさなごにとっての最善の保育を目指す。

※子ども達の遊びを通して、私たち保育者は“あたたかなまなざし”で子ども達の育ちを見つめ生きる力を育む。子ども達の未来に向け、成長の土台を家庭・地域・保育園が連携し、共に育ち合う場を作り出す。

※親鳥に見守られ育っていくひなをイメージ、やがて一人で飛び立ち自立に向かう(望ましい子供の姿)を願って、環境を準備する。

諸聖徒保育園の特徴は、キリスト教保育にあります。
理想としての人間像は、イエス・キリストであり、職員もそこに目を注ぎ、子ども達もそこに目を向けさせていきます。イエス様とお友だちと私、この関係が非常に大切なことであると考えています。

子ども達が自発的、意欲的にかかわれるような環境を構成し、主体的な活動と個性を大切にし、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、遊びを通して総合的に保育を行います。

園の概要

名　　称　：諸 聖 徒 保 育 園（しょせいとほいくえん）

『諸聖徒』とは、イエスさまにしたがったすべての人を総称した意味です。
わたしたちの保育園の母体である教会にならって命名しました。

設置・経営　：社会福祉法人 聖公会沖縄福祉会（せいこうかいおきなわふくしかい）

諸聖徒保育園を設置・経営する法人を社会福祉法人聖公会沖縄福祉会といいます。
聖公会沖縄福祉会は沖縄県下に当園を含め５ヶ所の保育園を経営し、300 名の入園児の保育に携わっています。

理事長　上原 榮正　（現職：宗教法人代表役員）　2013 年 9 月より就任

法人姉妹園　聖ルカ保育園（名護市済井出　在　定員 30 名）
聖マルコ保育園（豊見城村根差部　在　定員 60 名）
聖ヤコブ保育園（平　氏　下　里　在　定員 60 名）
エンゼル保育園（石 垣 市 新 川　在　定員 60 名）

姉 妹 法 人　学 校 法 人 聖公会学園
ナザレ幼稚園（那覇市三原　在　）
聖マタイ幼稚園（豊見城村豊見城　在　）

沿　　革

１９６２年１２月・・・北中城村島袋にて開園
初代園長に前田次郎氏 就任
１９６３年　１月・・・琉球政府より宗教法人立の保育園として認可
１９６６年　４月・・・２代目園長に池原貞雄氏 就任
１９７０年　６月・・・３代目園長に新城喬氏 就任
１９７１年　３月・・・現在地に園舎新築落成
１９７３年　４月・・・定員を６０名から９０名に変更、５歳児保育開始
１９７６年　４月・・・障害児保育を開始
１９８４年　４月・・・４代目園長に棚原恵正氏 就任
１９８５年　２月・・・社会福祉法人聖公会沖縄福祉会が設立・認可
初代理事に中村寛明氏 就任
１９８５年　８月・・・保育園の経営権を就業法人より社会福祉法人に委譲
１９９５年　４月・・・５代目園長に高良孝誠氏 就任
１９９６年　４月・・・開所（閉所）時間を３０分繰り下げ『開所時間園長』を実地
１９９８年　４月・・・土曜日『１日保育』実地
６月・・・２代目理事長に谷昌二氏 就任
１９９９年　４月・・・延長保育実地
２０００年　４月・・・新園舎落成
乳幼保育実地
２００５年　４月・・・６代目園長に鈴木知子氏 就任
２０１２年　４月・・・７代目園長に前濱玲子氏 就任
２０１３年　９月・・・３代目理事長に上原榮正氏 就任
２０１９年　４月・・・８代目園長に金汀洙氏 就任

定 員 等

年齢別	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	総園児数
クラス別	ひかり組	あい組	わかば組	つぼみ組	ゆり組	ひまわり組	
定員	6 名	12 名	18 名	18 名	18 名	18 名	90 名

開園時間及び保育時間

保育園の開園時間は月曜日から土曜日まで(午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分)までです。
内、保育活動は午前 9 時から午後 4 時 30 分までです。

★保育時間内のお迎えまたは午後 6 時半以降のお迎えの場合は必ず園までご連絡ください。

★入園後 1 週間程度は園の環境に子どもが慣れるよう『慣らし保育』のため午前中でお迎えに来てもらう場合があります。

※**開園時間とは**園が園児をお預かりする時間であり、**保育時間とは**その内の保育活動(遊び・給食・おやつ・休息など)の時間です。

休園日

保育園の休園日は以下の通りです。

1. 日曜日
2. 公休日及びその振替日
3. 沖縄『慰霊の日』(6 月 23 日)
4. 12 月 29 日から 1 月 3 日(年末・年始休み)

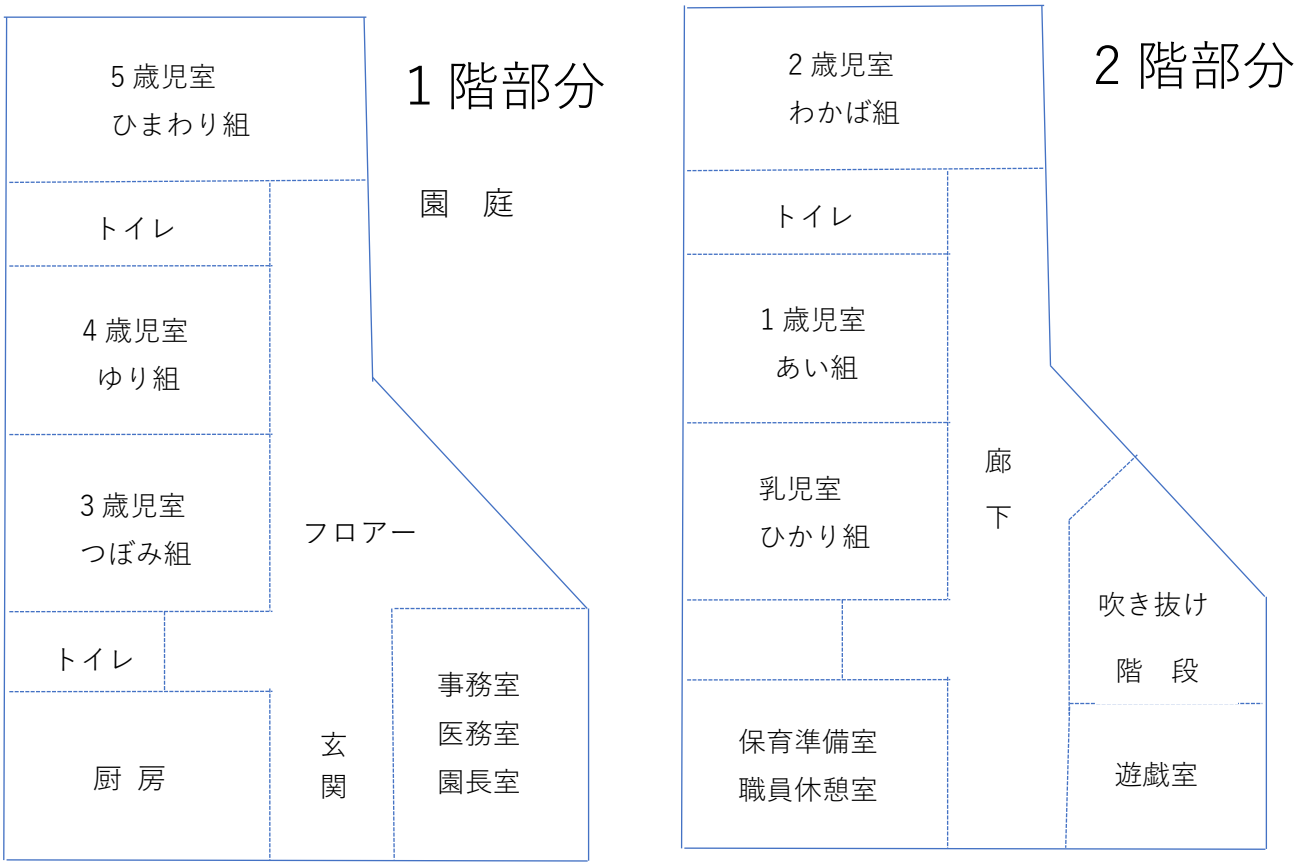
以下の場合は緊急休園とします。

1. 台風災害等の場合(台風時の目安は暴風警報発令の状況によります)
2. 園舎火災・崩壊等により保育園での保育が困難と園長が判断した期間
3. その他、関係機関より休園の指示・命令を受けた時

『家庭保育協力願い』とは休園ではありませんが、ご家庭で保育が可能な場合はご協力を願うものであり、困難場合はお預かりいたします。以下の時にご協力お願いします。

1. 3 月末における新年度準備のため
2. 園舎害虫駆除を行う場合(土曜日の午後)
3. 職員会のため(毎月 1 階の職員会は、保育及び行事計画確認等大切な会議です基本的に土曜日午後行います)
4. その他、園長が必要と認めた時

園内見取図



保育内容

園目標

光の子ども

一．神、人、自然を愛する子
一．創造性豊かな子
一．心身ともに明るく健康な子

保育の目的

当園での保育の基準は厚生労働省によって定められた『保育所保育指針』を前提に『キリスト教保育指針』及び『幼稚園教育要領』を踏まえながら展開していきます。最近よく耳にする言葉に『心の教育』というものがあります。近年急増し、さらに凶悪化する少年犯罪の根底に『知識は豊富だが心が育っていない』という大人側の反省から打ち出された言葉です。

当園では人格形成の基礎期である乳幼児期に関わるものとして、このことを重視し、心にまなざしを向けた保育活動をします。

◆乳児から５歳までの一貫した保育展開

当園では乳児から５歳児までの発達段階に考慮した一貫した保育観で保育計画を立案・実地します。それは乳幼児期にとって大切なことであると確信します。

ａ）乳児(０歳児)の保育

個人差に十分留意し、情緒の安定を図り、機嫌よく過ごせるように配慮します。離乳から、乳幼児食への移行又、喃語を受け入れ発語を促し、身体活動・探索活動を通していろんなものを見て触れ興味や好奇心を育てる保育をします。

ｂ）１歳児の保育

１歳児は、大人の世話を必要としながらも運動機能がましよく動き回る頃です。自分でしようとしているときや何かに夢中で取り組んでいるときには、温かく見守り、また子どもの発見や驚きを受け止め、興味や好奇心を育てる保育をします。

ｃ）２歳児の保育

この時期の保育の特質は、行動が広がり子ども同士の関わりを求めるころ、欲求の妨げも経験しながら情緒の安定を図ります。又、自分でやろうとする自立心の芽生えや基本的生活習慣の芽生えを大切にする保育をします。

ｄ）３歳児の保育

心の安定を保ちながら自立心や基本的生活習慣の確立を目指し保育します。又、遊びや生活の中で社会性の芽生えを促し、身近な動植物への関心を広げ、言葉での表現、直接的経験を通して気付きの経験を豊富にもてる保育をします。

ｅ）４歳児の保育

安定した気持ちで過ごし、基本生活習慣を身につけ自立できるよう方向付けます。又、友だちを思いやる気持ちや、小動物をかわいがる気持ち、物を大切にする気持ちを育て、神様の恵みに感謝する気持ちを育てます。そして、経験したこと、思ったことなど自分の意志をしっかり伝え、話を聞く態度を養います。遊びを通し、健康な心と身体づくり、探求心、想像力や創造性を養い育てる保育をします。

ｆ）５歳児の保育

これまで培われた心の安定や自立心、基本的生活習慣の確立を土台に

① 神・人・自然に対する感情
② 健康な心と身体づくり
③ 経験したこと、思ったことを話す意欲と聞く態度を身につける
④ 身近な事物、事象に関心をもち、探求心、想像力や創造性を養い育てる保育をします。

★ 発達支援保育について

当園では１９７６年より支援を必要する幼児を受け入れ集団保育(交わり・関りの中で)から発達を促します。また、発達支援保育を行うクラスには保育士を加配し、受け入れる幼児については、沖縄市の巡回指導員の助言・指導により個々の発達段階を考慮しながら保育します。

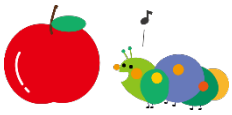
★ 環境を生かした保育

当園のちかくには農道や公園、沖縄こどもの国があり、自然や動植物が身近に与えられる環境です。散歩を通してそれらに触れ、楽しむ機会が多く、沖縄市立島袋小学校に隣接、夏には地域のエイサーに触れる納涼まつりにも参加しています。

★ 主な園行事

月	行事名	月	行事名
4 月	入園・進級式・保育参観・保護者総会	１０月	運動会・仮装パーティー
5 月	親子遠足	１１月	内科・歯科検診(後期)収穫感謝礼拝
6 月	内科・歯科検診(前期)	１２月	クリスマス祝会
7 月	プール遊び	1 月	ムーチー作り・親子餅つき会 記念撮影
8 月	プール遊び	2 月	お店屋さんごっこ(保育参観) お泊り保育(ひまわり組)
9 月	祖父母お招き会	3 月	お別れ遠足・卒園・修了式

※行事等には、保護者主催の計画も 1～2 回入ります。



★ 給食

食事は完全給食で、管理栄養士が作成した献立に基づいて実地しています。又、アトピー等の食物アレルギーのある乳幼児については医師によって指示された代用食品により個別に対応しています。

★ 保健活動

毎日の視診、検温により健康状態を把握し毎月一回定期的に慎重・体重を測定し個別の身体的発達を記録します。又、年二回嘱託医による歯科検診・内科健診や蟯虫・尿検査を行います。保育中に具合が悪くなったり事故の場合は、適切な処置をとった後、すぐに保護者に連絡を取りお迎えをお願いする場合があります。

★ 薬の服用について

① 医師から処方された薬は、本来保護者が内服させるべきものであり、原則として保育園では薬の服用ができません。病院受診し薬が処方される１日３回(朝・昼・夕)の場合は、１日２回(朝・夕)の処方が可能か医師に相談して下さい。
やむを得ず保育園で服用する場合は１回分を別容器に分けお子さんの名前を記入お薬依頼書と薬剤情報提供書(薬の説明書)を添えて職員へ手渡しをお願いします。

② 市販薬・解熱剤・座薬・熱性けいれん予防薬・以前に処方されたお薬・保護者の個人的な判断で持参した薬は、お預かり出来ません。

＊お薬依頼書の用紙が必要な場合は、玄関横(靴箱上)に準備されていますので必要と気にお取りください。又、ホームページでもダウンロードできます。

当園を制限する伝染性疾病

法廷伝染病(コレラ・赤痢・日本脳炎など)の他、主な伝染性疾病（学校保健法施行規則より抜粋）

病名	登園禁止の期間	提出書類
インフルエンザ（A・B 型）	発症した後、5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで	報告・指示書
麻疹（はしか）	解熱後、3 日を経過するまで	完治証明書
風疹（三日はしか）	発疹が消失するまで	完治証明書
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がカサブタになるまで	完治証明書
流行性耳下腺炎（おたふく）	耳下腺や顎下腺の晴が出てから 5 日経過し、かつ全身状態が良好になるまで	完治証明書
溶連菌感染症	抗菌剤内服後 24～48 時間経過するまで	登園許可書 (診断時の薬説明書添える)
咽頭結膜熱・プール熱 (アデノウィルス感染症)	発熱や充血などの症状が消失し、2 日経過するまで	完治証明書
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治るまで	登園許可書 (診断時の薬説明書添える)
RS ウィルス感染症	発熱や呼吸困難、咳、ぜーぜーなどの症状がなくなり、全身状態が良好になるまで	登園許可書 (診断時の薬説明書添える)
百日咳	特有の咳が消失するまで、又は、5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が完了するまで	完治証明書 (又は登園許可証明書)
流行性角膜炎・急性出血性結膜炎	症状が完全に消失するまで	完治証明書
手足口病	＊発熱や高膣内の水疱や潰瘍の影響がなく、普段お食事がとれるまで	無し
ウィルス性胃腸炎(ロタ・ノロ)	＊嘔吐や下痢等の症状がおさまり普段の食事がとれるまで	無し

★ 完治証明書・登園届等は、玄関横（靴箱上）に準備されていますので必要時にお取りください。
上記の書類等は HP でダウンロードできます。

＊胃腸炎(下痢・嘔吐が見られた時)の対応について
最近は、季節に関係なく年間を通してウィルス性胃腸炎(ロタ・ノロウィルス)にかかる子が増えています。
ウィルス性胃腸炎にかかっている子の便や吐物には、大量のウィルスが検出され、また感染力も強いため園でも蔓延(まんえん)しやすい状況です。子供は、下痢・嘔吐が続くと脱水症状をおこしやすく、病院で点滴など治療が必要になる場合もあります。

★ 園の対応として下痢や嘔吐が 3 回以上続く場合は、保護者に連絡してお迎えをお願いしています。集団感染を防ぐためにも症状がおさまり、普段の食事がとれるようになるまでは家庭での保育が望ましいです。ご協力をお願いします。

◎予防接種は、かかりつけ医と相談しながら計画的に受けてください。

接種後は、安静が必要なので、午後の時間帯に予防接種を受け接種後はご家庭で休ませて下さい。

※予防接種の 1 番の目的は、子どもを感染症などの病気から守る事ですが、接種を受けることにより、病気を他人に広げない事に繋がります。

病気の重症度を考慮し 1 歳の誕生日を迎えたらすぐに MR の予防接種を受けましょう。

★ 保育園は、集団生活で伝染性疾患が広がりやすい環境にあります。
清潔に気を付けシラミ、蟯虫などがある場合は早めに駆除し駆除証明書の提出をお願いします。

一 日 の 生 活

乳児(0 歳児)

時 間	生活の流れ(リズム)	内　　容
7：30	開　園	
	順次登園	
	受け入れ、健康視診・検温	
	おやつ	
8：45	あそび又は午前睡	個々に合わせ、情緒の安定を図った保育をします。
9：20	静かな活動	
10：30	昼　食	
	着替え・シャワー	
	午　睡	
	めざめ・検温	
	あそび	
3：00	おやつ	
4：00	あそび	
	順次降園準備	
	降　園	

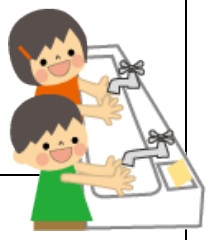
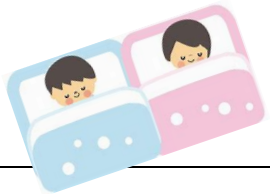
一 日 の 生 活

1～2 歳児

時 間	生活の流れ(リズム)	内　　容
7:30	開　園	朝のあいさつ 視診（連絡を受ける） 持ち物を片付ける 個々の活動を楽しむ
9:00	おやつ	手洗い・軽い飲食物
9:20	片付け 活　動	遊んだおもちゃを片付ける 静かな活動（礼拝・読み聞かせ） 戸外遊び・散歩 体操・リズム・製作など
11:00	食事の準備 食　　事	手洗い フッ化洗口 顔や手をふく
12:00	静かな遊び 午後の準備 午　　睡	絵本を見たり 着替え・絵本紙芝居を見る 静かに休息をとる
3:00	目　覚　め おやつ準備 お　や　つ	手洗い 歯磨き・顔ふき・着替え
4:00 4:30	片付け 降園準備 降　　園	持ち物の片付け 感謝の祈り さようならのあいさつ 戸外(5 時半まで)屋内で自由遊び

一 日 の 生 活

3 歳以上児

時 間	生活の流れ(リズム)	内　　容
7:30	開　園 コーナー遊び	朝のあいさつ 視診（連絡を受ける） 持ち物を片付ける 個々の活動を楽しむ
9:20	片付け 活　動	遊んだおもちゃを片付ける 静かな活動 (朝の祈り・読み聞かせ) 戸外遊び・散歩 体操・リズム・お話・冷水摩擦
11:00	食事の準備 食　　事 静かな遊び	手洗い フッ化洗口・歯磨き 顔拭き・着替え 
12:00	午睡の準備 午　　睡 	絵本紙芝居を見る 静かに休息をとる
3:00	目　覚　め おやつ準備 お　や　つ	寝具の片付け・着替え 手洗い 歯磨き・顔ふき
4:00 4:30	片付け 降園準備 降　　園	持ち物の片付け 感謝の祈り　さようならのあいさつ (5 時半まで)戸外・屋内で自由遊び

入　　園

◎ 入園については児童福祉法等で定められています。詳細は園又は沖縄市児童家庭課までお問い合わせ下さい。

保　育　料

◎ 保育料については保護者の収入等で異なります。詳細は沖縄市保育家庭課までお問合せ下さい。

延長保育料

◎ 当園の閉園時間は 18 時 30 分ですが、お仕事の都合上その時間帯までにお迎えが難しい方のために、30 分の延長保育を実施しています。ご利用された場合は、150 円の延長保育料をその都度徴収します。尚、延長保育の場合は園児に軽いおやつを提供します。

◎ 短時間保育の場合、決まった登園・降園 時間の 5 分前までの延長保育料は、発生しません。

◎ 短時間保育の園長保育料は、30 分で 150 円となります。又 1 分を過ぎた場合は、延長保育料を、徴収します。

通園について

◎ 朝食は必ず済ませてから登園しましょう。

◎ 当園の際は、オモチャ・食べ物・不要なお金は持たさないでください。

◎ 子どもだけでの通園は大変危険です。必ず保護者同伴で登園しましょう。
（事故防止のため、車から玄関までの気配りもお願いします）

◎ 保育活動、昼食の準備の都合上、登園は午前 9 時までに、お迎えは午後 6 時半までにお迎えお願いします。尚、午前 9 時を過ぎての登園、午後 4 時半以前のお迎え、午後 6 時半以降のお迎え（延長保育利用の場合）が予想される場合は必ず園までご連絡下さい。
お休みの時もご連絡ください。

◎ 基本的に保護者以外のお迎えの場合は園児をお引き渡しできません。
代理の方が迎える場合は、あらかじめ園までご連絡ください。

※ 登降園の際の車はほかの迷惑にならぬよう配慮して下さい。
園前が混雑する時間帯は教会側の駐車場も利用出来ます。
送迎時、駐車中にエンジンをかけたまま車を離れないで下さい。（大変危険です）
車を離れる際はドアをしっかり閉めてください。
又、乳幼児の車内事故防止のため、子ども（特に赤ちゃん）だけを車に残さないで下さい。

持ち物について

◎ 服装や履き物は着脱しやすく、活動しやすく汚れてもよいもの、特にズボンは自分で着脱できるものにしてください。

◎ 持ち物、衣服には必ず名前を記入下さい。

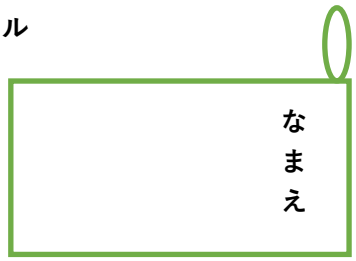
◎ カバンの中は毎日調べて下さい。（プリントなどお知らせが入っている場合があります）

◎ 自分の事ことは自分でできるように育て、教えていきますので、3歳以上の子どもの持ち物は子ども自身に持たせて下さい。

◎ 保育用品（ハサミ・のり・クレヨン等）は、園でまとめて購入し保育室にて保管します。

◎ カバンの中には、着替え、ビニール袋、おたより帳、お手拭きタオル１枚が入っているか確かめてから持たせてください。

手拭きタオル



みみをつけて下さい

◎ 体力づくりの一貫として、３，４，５歳児は冷水乾布摩擦を日課にしています。（季節や体調に合わせて）毎日忘れずにタオルを持たせて下さい

午睡用品について

◎ 寝具は各自でご準備ください。

◎ **掛布**として、**夏はタオルケット 冬は毛布** にして下さい。
（夏場やオネショ時等 予備の寝具が必要です）

家族への連絡

◎ 園から家庭への連絡は、毎月の園だより、プリントの他、掲示板でお知らせしますので、カバンの中、掲示板を必ずご覧ください。

◎ 提出物は、期限内に御協力をお願いします。

◎ 園での子どもの様子など、おたより帳に記入しますので必ず目を通して、サインをお願いします。また、家庭でのお子様の様子なども記入いただきたいと思います。

※ 年長さんクラスは、日々ではなく、週だよりになります。

ご協力とお願い

◎ 保育園では子ども達の健全な発育・発達のために万全を尽くします。しかし、園だけではそれは十分とはいえません。保護者を始ご家族の皆様のご協力がどうしても必要ですので以下のご協力よろしくお願いします。

◎ 一日の始を穏やかに落ち着いた気持ちでスタートする為に静かな活動を取り入れています。
９時２０分より約３０分間静かな曲が流れますのでご協力お願いします。

★ 登園は十分余裕を持ってしましょう・・・朝の雑務で慌ただしく登園すると、子どもはまだ心の準備がされておらず、『置き去りにされた』の思いが心に残ります。園の玄関で、子どもが泣いたときに優しく抱きしめる時間の余裕を持って登園しましょう。

★ 子どもは保育士又は職員に確実に預けましょう

『子どもが慣れている』『急いでいるから・・・』と言う理由から、玄関前で子どもだけでの登園は、事故の危険があります。必ず保護者同伴で玄関まで入って 職員に子どもの登園を確認してもらうようにして下さい。

★ 休みの日は親子の時間をしっかりとりましょう

子どもにとって信頼できる大人（保護者等）に十分に愛され、受け入れられていると感じることが情緒の安定には不可欠です。
就学前の幼児期が、お子さんと深くかかわることのできる黄金期ともいえるでしょう。お休みの日（休園日及び土曜日等の保護者が休みの場合）には、家事を休めてお子さんとの大事な時間が持てるといいと思います。

★ 園の行事には積極的に参加しましょう

保育園に保護者が来るのを子どもたちは心待ちにしています。園の行事特に親子参加の行事には積極的に参加してください。

★ 何でも相談・質問しましょう

保育園での子どもの様子、保育内容など何でも担当保育士又は職員におっしゃって下さい。子どもについて様々な情報を園と家庭で共有することでより良い保育・育児ができます。
直接（口頭・電話）でもお便り帳でも疑問・不安などがありましたらお申し出下さい。

★ 保育参観はいつでもどうぞ

保護者の都合のよい日（事前に連絡下さい）に、いつでもお越し下さって普段の保育の様子、子どもの様子を見学して下さい。（保育参加もどうぞ）

◎ 保育園の外郭団体として『諸聖徒保育園 保護者会』があります。
会費は一世帯月３００円です

◎ 保育・育児・その他でお困り事がありましたら、保育士又は園長までご連絡下さい。（秘密厳守）

尚、**電話での相談は ９８３－９４６６：開園時間中受付** にご連絡下さい。

職員の心得

1. 祈り 私たちは、ひとりひとりの子どもたちを神様から託された大事な賜（たまもの）として、祈りをもって保育に当たります
2. 自立 私たちは、ひとりひとりの子どもの伸び行く力を尊重し、基本的な生活習慣の確立、自立心を養います
3. 支援 私たちは、保育活動 又はその専門知識・技術を通して子育て支援に努めます
4. 整備 私たちは、子どもたちの成長に必要な保育環境を整備することに万全を尽くします
5. 保持 私たちは、その職務で知りえた個人情報の守秘義務に努めます